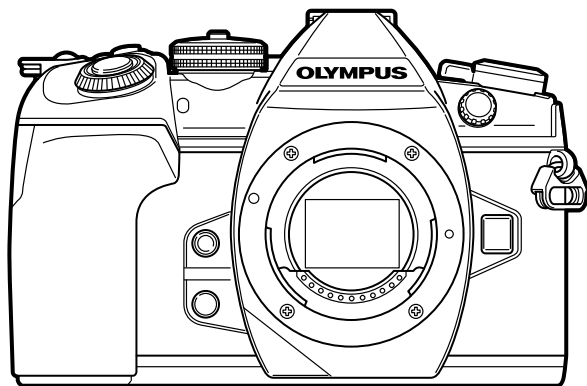


# **OLYMPUS**

デジタルカメラ

## ***E-M1 Mark II***

# ムービー機能ガイド



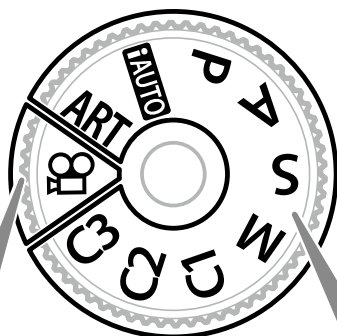
### このムービー撮影ガイドについて

- このムービー撮影ガイドでは、ムービーに関する機能と設定方法について説明しています。静止画撮影やカメラの仕様、機能の詳しい説明などについては、カメラに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本ガイドで使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

# ムービー撮影モード

## ムービー撮影について

このカメラには、ムービー撮影専用の「ムービーモード(🎥)」と、ムービーも撮影できる静止画撮影用のモードがあります。



モードダイヤル

### ムービーモード(🎥)の場合

ムービー専用の撮影モードです。静止画撮影時と異なる設定をしたり、ムービー独自の機能を使うことができます。

ムービーを中心に撮影する場合に適しています。

### その他の撮影モードの場合

静止画撮影時と同じ設定\*で撮影されます。

静止画撮影の合間にムービー撮影をする場合に適しています。

\* 機能によっては、静止画撮影時と設定が異なる場合があります。

本ガイドでは、主に「ムービーモード」を使用したムービー撮影について説明します。

# ムービー機能の設定方法

ムービー機能の設定は、次のLVスーパーコンパネ、メニュー、ライブコントロールで設定します。

## LVスーパーコンパネで設定する方法

LVスーパーコンパネでは、撮影に関する機能と設定内容を一覧しながら設定できます。

### 1 ○K ボタンを押してLVスーパーコンパネを表示する。

- ライブコントロールが表示されている場合は、**INFO** ボタンを押して設定画面を切り換えてください。ただし、**[画質モード]**など一部の機能では表示の切り換えができません。その場合は、別の機能を選択した状態で、**INFO** ボタンを押してください。



### 2 十字ボタンで設定する項目を選び、○K ボタンを押す。

- 設定項目はリアダイヤルでも選択できます。



### 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、○K ボタンを押す。

- 設定値はフロントダイヤルでも設定できます。
- 何も操作せずに約8秒経過すると設定が確定します。

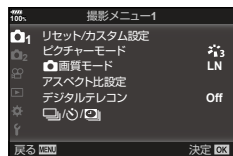


## メニューで設定する方法

メニューでは、LVスーパーコンパネなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定できます。

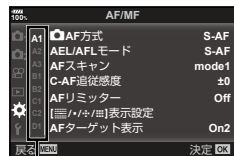
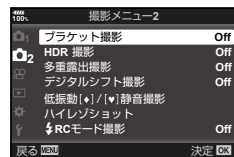
### 1 MENU ボタンを押してメニューを表示させる。

- 機能を選択すると、ガイドが表示されます。
- INFO** ボタンを押すと、ガイドの表示／非表示を切り換えることができます。



- 2 十字ボタンの上下でタブを選択し、**OK** ボタンを押す。

- **カスタムメニュー**を選択したときは、メニューグループのタブが表示されます。十字ボタンの上下でメニューグループを選択して**OK** ボタンを押します。



メニューグループ

- 3 十字ボタンの上下で機能を選択し**OK** ボタンを押して、各設定画面に進む。

- 4 十字ボタンの上下で設定値を選択し**OK** ボタンを押して、設定内容を確定する。



## ライブコントロールで設定する方法

ライブコントロールでは、被写体を確認しながら撮影に関する機能を設定できます。

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示する。

- LVスーパーコンパネが表示されている場合は、**INFO** ボタンを押して設定画面を切り換えてください。ただし、**画質モード** など一部の機能では表示の切り換えができません。その場合は、別の機能を選択した状態で、**INFO** ボタンを押してください。



- 2 十字ボタンの上下で設定する項目を選び、左右で設定値を変更する。

- 設定は、フロントダイヤルやリアダイヤルでも変更できます。
- 何も操作せずに約8秒経過すると設定が確定します。



- 3 **OK** ボタンを押して設定を終了する。

### LVスーパーコンパネおよびライブコントロールの表示について

LVスーパーコンパネおよびライブコントロールの表示/非表示は、動画メニュー **表示設定** の **Control表示** (P.29) で切り換えられます。

# ムービー機能一覧

機能	概要	設定値の範囲	設定方法	📖
🔗画質モード	ムービーサイズ、圧縮方式/ビットレート、フレームレートなどの設定	動画専用	LVスーパーコンパネライブコントロール	P.6
🔗露出モード	ムービー撮影時の露出モード	動画専用	メニューライブコントロール	P.10
露出補正	ムービー撮影時の明るさ補正	動画/静止画共通	ダイヤル	P.10
絞り値	露出モードが <b>A</b> モードまたは <b>M</b> モード時の絞り値の設定	動画/静止画共通	ダイヤル	P.10
シャッター速度	ムービー撮影時のシャッター速度の設定	動画/静止画共通	ダイヤル	P.10
ピクチャーモード	色合いなどの仕上がりの設定	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネライブコントロール	P.11
🔗ピクチャーモード	カラーグレーディングに適したムービー専用のピクチャーモード	動画専用	メニュー	P.11
ホワイトバランス	白いものを白く撮るための設定	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネライブコントロール	P.12
全WBモード補正	各種ホワイトバランスモードの補正設定(全モードを一括で設定)	動画/静止画共通	メニュー	P.13
WBオート 電球色残し	オートホワイトバランスで撮影するときに電球色の温かみを残す設定	動画/静止画共通	メニュー	P.13
🔗AF方式	ピント合わせ(フォーカスモード)の設定	動画専用	LVスーパーコンパネメニューライブコントロール	P.14
プリセットMF距離	プリセットMFのフォーカス位置を設定する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.15
MFアシスト	マニュアルフォーカス時のアシスト機能	動画/静止画共通	メニュー	P.16
拡大	マニュアルフォーカス操作時に拡大表示する機能			
ピーキング	マニュアルフォーカス操作時にコントラストのピークを表示する機能			
ピーキング表示	ピーキングの表示色の設定	動画/静止画共通	メニュー	P.16
MFクラッチ	MFクラッチ搭載レンズのMFクラッチ機能の有効/無効を切り換える機能	動画/静止画共通	メニュー	P.16
AFターゲット選択	AFターゲットの選択方法やサイズを設定する機能	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネライブコントロール	P.17
タッチAF	タッチ操作でピント合わせを行う機能	動画/静止画共通	タッチパネル	P.17
顔優先AF / 瞳優先AF	顔や瞳を検出して優先的にフォーカシングする機能	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネライブコントロール	P.17
ムービー録音	ムービーの録音に関する設定	動画専用	メニューライブコントロール	P.18
録音レベル調整	内蔵マイクおよび外部マイクの感度の設定			
🔊入力リミッター	入力音量を制限する機能			
風切り音低減	風による雑音を低減する機能			
🔊プラグインパワー	外部接続するマイクの電源供給に関する設定			
PCMレコーダー🔗接続	PCMレコーダーを、カメラに接続して外部マイクとして使う場合の設定			
ヘッドホン音量	接続するヘッドホンの音量設定			
カードスロット設定	カードをカードスロット1、2の両方に入れたときの記録や再生に関する設定	動画/静止画共通	メニュー	P.19
📷記録設定	画像をカードに記録する方法を設定する機能	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネメニュー	P.20
🔗手ぶれ補正	ムービー撮影時の手ぶれ補正の設定	動画専用	LVスーパーコンパネメニューライブコントロール	P.21
🔗HDMI出力	カメラと外部機器をHDMI接続してムービーを撮影するときの設定	動画専用	メニュー	P.22
ISO感度	露出モードが <b>M</b> モード時のISO感度設定(その他のモードのときはAUTOに固定)	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネライブコントロール	P.22
シャープネス	鮮鋭度を調整する機能	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネ	P.23
コントラスト	明暗の差を調整する機能	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネ	P.23
彩度	色の鮮やかさを調整する機能	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネ	P.23
階調	階調を調整する機能	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネ	P.24
ハイライト&シャドウコントロール	ハイライト部とシャドウ部の明るさを調整する機能	動画/静止画共通	LVスーパーコンパネ	P.24
🔗高感度ノイズ低減	高感度でムービー撮影するときに発生するノイズを低減する機能	動画専用	メニュー	P.25
🔗ボタン機能	ムービーモード時のボタン機能のカスタム設定(ボタンに各種機能を割り当てられます)	動画専用	メニュー	P.25
🔗ダイヤル機能	ムービーモード時のダイヤル機能のカスタム設定(ダイヤルに割り当てられた機能を変更できます)	動画専用	メニュー	P.28
🔗Fnレバー機能	ムービーモード時のレバー機能のカスタム設定(レバーの機能を変更できます)	動画専用	メニュー	P.28

このカメラのムービー機能には、撮影に関する機能、ムービー撮影時のボタン/ダイヤル/レバーの操作に関する機能、表示設定の機能があります。これらの機能は主にLVスーパーコンパネやメニューで設定します。一部の機能では、設定が静止画撮影時と共通になります。

機能	概要	設定値の範囲	設定方法	📖
🔗シャッターボタン機能	ムービーモード時のシャッターボタン機能のカスタム設定(シャッターボタンに他の機能を割り当てられます)	動画専用	メニュー	P.29
🔗電動ズーム速度	ムービーモード時の電動ズーム速度の設定	動画専用	メニュー	P.29
🔗Control表示	ムービーモード専用のコントロールパネル表示の設定	動画専用	メニュー	P.29
🔗Info表示	ムービーモード専用の情報表示の設定	動画専用	メニュー	P.29
タイムコード設定	タイムコードに関する設定	動画専用	メニュー	P.30
タイムコードモード	DN / DFNの設定			
カウントアップ方式	レックラン/フリーランの設定			
タイムコード値設定	タイムコード開始時間の設定			
🔗🔋残量表示	電池残量表示を、ムービー記録可能時間とパーセンテージのどちらで行うか切り換える機能	動画専用	メニュー	P.30
マイクリップス	専用の🔗画質モードで撮影した短いムービー「クリップ」を、1つのムービーとしてまとめることができる機能	動画専用	LVスーパーコンパネメニューライブコントロール	P.31
動画エフェクト	ムービーに残像やオールドフィルムなどの効果を付加する機能	動画専用	タッチパネル	P.39
ムービーテレコン	モニターでタッチした範囲を約3倍に拡大する機能	動画専用	タッチパネル	P.40
静音機能	ムービー撮影中の操作音を抑えるために、撮影に関する設定をタッチ操作で行える機能(電動ズーム、録音レベル、絞り値、シャッター速度、露出補正、ISO感度、ヘッドホン音量をタッチ操作で設定可能)	動画専用	タッチパネル	P.41
ムービー再生	ムービーの再生	動画専用	再生画面	P.42
トリミング	ムービーのトリミング	動画専用	再生画面	P.43
静止画切り出し	ムービーからコマを選択して、静止画として保存する機能	動画専用	再生画面	P.43
シェア予約	OI.Shareでスマートフォンに転送するムービーや静止画の予約を行う機能	動画/静止画共通	再生画面	P.44
プロテクト	ムービーや静止画のプロテクト(保護)	動画/静止画共通	再生画面	P.44
スライドショー	カードに記録したムービーや静止画の自動再生	動画/静止画共通	再生画面	P.45
1コマ消去	1コマ再生画面で表示しているムービーや静止画の消去	動画/静止画共通	再生画面	P.45
フォーカスリング	フォーカシング時のフォーカスリングの回転方向を設定する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.46
レンズリセット	電源をオフにしたときにレンズのフォーカス位置をリセットするかどうか設定する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.46
フリッカー低減	フリッカーの影響を低減する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.46
ガイド線表示設定	撮影を補助する罫線表示の設定	動画/静止画共通	メニュー	P.46
ファイルネーム	画像をカードに記録するときのフォルダ番号やファイル番号の設定	動画/静止画共通	メニュー	P.47
ファイルネーム編集	撮影した画像に付与するファイル名の設定を変更する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.47
ワンタッチ消去	再生画面で🔑ボタン押したときに、消去確認画面を表示せずに画像を消去できる機能	動画/静止画共通	メニュー	P.47
実行優先設定	実行確認画面が表示されたときのカーソルの位置を、 <b>[実行]</b> と <b>[中止]</b> のどちらにするか選択できる機能	動画/静止画共通	メニュー	P.48
EVF自動切換設定	ファインダーに目を近づけたときに、自動的にファインダーを点灯させ、モニターを消灯させる機能	動画/静止画共通	メニュー	P.48
EVF調整	ファインダー表示の明るさや色合いの調整	動画/静止画共通	メニュー	P.48
EVF表示スタイル	ファインダー表示の情報表示スタイルの設定	動画/静止画共通	メニュー	P.48
ボタン長押し時間調整	ボタンを長押しし始めてから、ボタンに割り当てられた長押し時の機能が動作するまでの時間を設定する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.49
水準器調整	水準器の水平を微調整する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.49
タッチパネル設定	タッチパネルの有効/無効の設定	動画/静止画共通	メニュー	P.49
メニューカーソル保持	メニュー画面で前回操作したときのカーソル位置を保持する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.49
電池設定	別売のパワーバッテリーホルダー (HLD-9)使用時に優先的に使用する電池の設定、および装着されている電池の状態を表示する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.50
バックライト時間	電力消費を抑えるために画面を暗くするまでの時間を設定する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.50
スリープ時間	省電力モード(スリープモード)に切り換わるまでの時間を設定する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.50
自動電源Off	自動的に電源をオフにする機能	動画/静止画共通	メニュー	P.50
リセット	設定値の初期化	動画/静止画共通	メニュー	P.51
カードセットアップ	カードの初期化(フォーマット)および全コマ消去	動画/静止画共通	メニュー	P.51
日時設定	日付(年月日)と時刻の設定	動画/静止画共通	メニュー	P.52
🗣️(言語切り換え)	メニューなどの表示言語の設定	動画/静止画共通	メニュー	P.52
モニター調整	モニターの明るさと色温度の調整	動画/静止画共通	メニュー	P.52
Wi-Fi設定	OI.Shareを使ってカメラとスマートフォンを無線接続するための設定	動画/静止画共通	メニュー	P.53
スマートフォン接続	OI.Shareを使ってカメラとスマートフォンを無線接続する機能	動画/静止画共通	メニュー	P.53

## 画質モード

ムービーサイズ、圧縮方式/ビットレート、フレームレートなどの設定です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

1 OK ボタンを押す。

2 十字ボタンで[画質モード]を選び、OK ボタンを押す。

- リアダイヤルで操作することもできます。

3 十字ボタンの左右で画質モードを選び、OK ボタンを押す。

- フロントダイヤルとリアダイヤルで操作することもできます。
- ムービーサイズ、圧縮方式/ビットレート、およびフレームレートなどの組み合わせは、動画メニュー [画質設定] の [画質モード] であらかじめ設定しておくことができます。



**MENU**ボタン → 画質タブ → [画質設定] → [画質モード] → 画質モードを選択 → 組み合わせを設定

画質モード	用途
FHD 30p	クリップス用の画質モード • MPEG-4 AVC/H.264形式。
4K 30p	通常のムービー用の画質モード • MPEG-4 AVC/H.264形式。1ファイルは4GBに制限されます。 1回の撮影は最長29分に制限されます。
FHD 60p	
FHD 60p	
FHD 60p	
C4K 24p	シネマ4Kやスロー/クイック再生などの設定が可能な画質モード • MPEG-4 AVC/H.264形式。1ファイルは4GBに制限されます。 1回の撮影は最長29分に制限されます。
HD	HDサイズ、Motion JPEG固定の画質モード • 1ファイルは2GBに制限されます。

- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。
- 設定の組み合わせによっては圧縮方式/ビットレートの変更ができない場合があります。
- メニュー (P.3)やライブコントロール(P.4)でも設定できます。

## ■ 画質モードの設定を変更する

画質モード(画質以外)を選択中に**INFO**ボタンを押すと、ムービーサイズやフレームレートなどの設定を変更できます。設定できる項目は画質モードによって異なります。

- 1 画質モードの選択画面で、画質以外を選んで**INFO**ボタンを押す。
  - 選択中の画質モードの詳細設定画面が表示されます。
- 2 十字ボタンの左右で項目を選択し、上下で設定値を変更する。
- 3 **OK**ボタンを押して設定を確定する。
  - 各項目で設定できる設定値は以下の通りです。



### クリップス用の画質モード

クリップス用の画質モードです。ムービーサイズ、圧縮方式/ビットレート、フレームレート、およびクリップの記録時間を設定できます。クリップの記録時間は【時間リミッター (クリップス)】で変更します。



項目	設定値
ムービーサイズ	4K (3840×2160)、FHD (1920×1080)、HD (1280×720)
圧縮方式/ビットレート <sup>*1</sup>	Super Fine(最高ビットレート)、Fine(高ビットレート)、Normal (標準ビットレート)
フレームレート <sup>*2</sup>	60p、50p、30p、25p、24p
時間リミッター (クリップス) (1クリップの時間設定)	8秒、4秒、2秒、1秒

\*1 【ムービーサイズ】が【4K】の場合、【圧縮方式/ビットレート】は設定できません。

\*2 【ムービーサイズ】が【4K】の場合、【フレームレート】は60pまたは50pに設定できません。

## 通常のムービー用の画質モード

ムービーサイズ、圧縮方式/ビットレート、フレームレートを設定できます。



項目	設定値
ムービーサイズ	4K (3840×2160)、FHD (1920×1080)、HD (1280×720)
圧縮方式/ビットレート <sup>*1</sup>	A-I (ALL-Intra) <sup>*2</sup> 、Super Fine (最高ビットレート)、Fine (高ビットレート)、Normal (標準ビットレート)
フレームレート <sup>*3</sup>	60p、50p、30p、25p、24p

\*1 【ムービーサイズ】が【4K】の場合、【圧縮方式/ビットレート】は設定できません。

\*2 All-Intraはフレーム間の圧縮をしないで記録されるムービーです。編集に向いていますが、データの容量が大きくなります。

\*3 【ムービーサイズ】が【4K】の場合または【圧縮方式/ビットレート】が【A-I】の場合、【フレームレート】は60pまたは50pに設定できません。



## シネマ4K、スロー／クイック効果、クリップスの設定が可能な画質モード

シネマ4Kのムービーを撮影できる画質モードです。また、ムービーサイズ、圧縮方式/ビットレート、フレームレートの他に、スローモーションおよびクイックモーション、クリップスの設定が可能です。

- スローモーションやクイックモーションのムービーとして撮影したい場合は、**[スロー／クイック効果]**で倍率を設定します。倍率を大きくするとクイック撮影、小さくするとスロー撮影になります。フレームレートは倍率に合わせて変更されます。
- クリップを撮影する場合は、**[時間リミッター (クリップス)]**で**[OFF]**以外を選んで、クリップの記録時間を設定してください。



項目	設定値
ムービーサイズ	C4K <sup>*1</sup> (4096×2160)、4K (3840×2160)、FHD (1920×1080)、HD (1280×720)
圧縮方式/ビットレート <sup>*2</sup>	A-I (ALL-Intra) <sup>*3</sup> 、Super Fine (最高ビットレート)、Fine (高ビットレート)、Normal (標準ビットレート)
フレームレート <sup>*4</sup>	60p、50p、30p、25p、24p
時間リミッター (クリップス) (1クリップの時間設定)	8秒、4秒、2秒、1秒、OFF
スロー／クイック効果 <sup>*5</sup> (スロー再生／クイック再生の設定)	x8.01、x4、x3、x2、x1.6、x0.96、x0.8、x0.48、x0.4、OFF

\*1 **[ムービーサイズ]**が**[C4K]**の場合、**[フレームレート]**と**[時間リミッター (クリップス)]**の設定は固定値になります。

\*2 **[ムービーサイズ]**が**[C4K]**または**[4K]**の場合、**[圧縮方式/ビットレート]**は設定できません。

\*3 All-Intraはフレーム間の圧縮をしないで記録されるムービーです。編集に向いていますが、データの容量が大きくなります。

\*4 **[ムービーサイズ]**が**[4K]**の場合または**[圧縮方式/ビットレート]**が**[A-I]**の場合、**[フレームレート]**は60pまたは50pに設定できません。

\*5 フレームレートの設定によっては表示されない倍率もあります。

## 露出モード

ムービー撮影時の露出モードです。

- この機能は、メニュー (P.3) で設定します。

**MENU**ボタン → 露出タブ → [露出モード] → 露出モードを選択

ライブコントロール(P.4)でも設定できます。

## 露出補正／絞り値／シャッター速度

ムービー撮影時の明るさ補正、[露出モード]が**A**モードまたは**M**モード時の絞り値、シャッター速度の設定です。

- フロントダイヤルまたはリアダイヤルを回すと、露出補正、絞り値、およびシャッター速度を設定できます。**P/A/S/M**モードそれぞれの操作は以下の通りです。

露出モード	露出補正	絞り値	シャッター速度
<b>P</b>	フロントダイヤル、 リアダイヤル	—	—
<b>A</b>	フロントダイヤル	リアダイヤル	—
<b>S</b>	フロントダイヤル	—	リアダイヤル
<b>M</b>	—	フロントダイヤル	リアダイヤル

初期設定では、**M**モードのときに**Fn**レバーを2の位置にすると、ISO感度と録音レベルの調整ができます。

## ピクチャーモード

色合いなどの仕上がりの設定です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

1 **OK** ボタンを押す。

2 十字ボタンで[ピクチャーモード]を選び、**OK** ボタンを押す。

- リアダイヤルで操作することもできます。

3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。




- フロントダイヤルで操作することもできます。






## ■ ピクチャーモード

カラーグレーディングに適したムービー専用のピクチャーモードです。

- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン →  タブ → [ 画質設定] → [ ピクチャーモード] → [On] / [Off]を選択

- ムービーモード時に [ ピクチャーモード] が [On] の場合、ピクチャーモードの設定は変更できません。ピクチャーモードの設定を変更するには、 [ ピクチャーモード] を [Off] に切り換えてください。
- [ ピクチャーモード] が [On] の場合、動画エフェクトは使用できません。また、以下の設定を変更することはできません。
  - シャープネス
  - 彩度
  - コントラスト
  - 階調
- ライブコントロール(P.4)でも設定できます。

## ホワイトバランス

白いものを白く撮るための設定です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[ホワイトバランス]を選び、**OK** ボタンを押す。

- リアダイヤルで操作することもできます。



- 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。

- ワンタッチホワイトバランスは、あらかじめ静止画モードで登録しておく必要があります。
- フロントダイヤルで操作することもできます。

メニュー (P.3)やライブコントロール(P.4)でも設定できます。

### ■ ワンタッチホワイトバランスの登録

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた撮影に有効です。ワンタッチホワイトバランスは、あらかじめ静止画モードで登録しておく必要があります。

- 1 モードダイヤルを**P/A/S/M/C1/C2/C3**のいずれかに設定する。
- 2 **OK** ボタンを押す。
- 3 十字ボタンで[ホワイトバランス]を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 4 **[WB1]**、**[WB2]**、**[WB3]**または**[WB4]**（ワンタッチホワイトバランス1、2、3または4）を選択したあと、**INFO**ボタンを押す。
- 5 白かグレーのように無彩色の紙を撮影する。
  - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
  - ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。
- 6 **[実行]**を選択して**OK** ボタンを押す。
  - ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
  - 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。

## ■ ホワイトバランス補正

オートホワイトバランス、プリセットホワイトバランスそれぞれに、補正値を設定して微調整できます。

- 1 **Ⓜ** ボタンを押して、LVスーパーコンパネを表示する。
- 2 十字ボタンで[ホワイトバランス]を選択する。
- 3 十字ボタンの左右で設定値を選択する。
- 4 十字ボタンでホワイトバランス補正を選択する。
- 5 十字ボタンの左右で補正値を変更する。



### A方向(赤 - 青)で補正する場合

+方向で赤味がかかり、-方向で青味がかかった画像になります。

### G方向(緑 - 赤紫)で補正する場合

+方向で緑の色味が増し、-方向で赤紫がかかった画像になります。

## 全WBモード補正

各種ホワイトバランスモードの補正設定です(全モードを一括で設定)。

- [CWB]以外のWBモードで同じ補正値を適用したり、[CWB]以外のすべてのホワイトバランス補正値を0にすることができます。
- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン → \*タブ → **G**タブ → [全WBモード補正] → 各種設定

## WBオート 電球色残し

オートホワイトバランスで撮影するとき電球色の温かみを残す設定です。

- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン → \*タブ → **G**タブ → [WBオート 電球色残し] → [On]または[Off]を選択

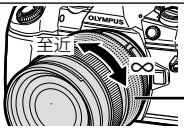
## AF方式

ピント合わせ(フォーカスモード)の設定です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[AF方式]を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。
  - フロントダイヤルで操作することもできます。



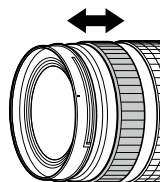
S-AF (シングルAF)	シャッターボタンを半押しすると1回だけピント合わせを行います。ピントが合うと、画面に合焦マークとAFターゲットが点灯します。定点撮影など被写体との距離が変化しない場合に適しています。
C-AF (コンティニュアスAF)	ピントを合わせ続けます。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。
MF (マニュアルフォーカス)	<p>レンズのフォーカスリングを操作することで任意の位置に手動でピントを合わせることができます。</p>  <p>フォーカスリング</p>
S-AF+MF (S-AFとMFの併用)	[S-AF]でピントを合わせたあと、フォーカスリングを回してピントの微調整ができます。
C-AF+TR (追尾AF)	<p><b>OK</b> ボタンを押して撮影を開始したときにピントを合わせた被写体を、撮影している間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>追尾被写体を見失うと、AFターゲットが赤く表示されます。</li> <li>フォーサースマウント規格レンズでは、追尾できる範囲が狭くなります。AFターゲットが赤い表示のときは、被写体を追尾していてもAFは動作しません。</li> </ul>
PreMF (プリセットMF)	選択すると、プリセットしたピント位置に自動で設定します。

- 明るさが不足している、霧などで被写体があっさり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。
- フォーサースマウント規格レンズ使用時は、ムービー撮影中のAFは動作しません。
- カスタムメニューの[MFクラッチ] (P.16)が[有効]で、レンズのMFフォーカスクラッチがMFになっていると設定できません。
- メニュー (P.3)やライブコントロール(P.4)でも設定できます。

## ■ レンズのMFクラッチ機能

MFクラッチを搭載したレンズでは、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換えることができます。

- ムービー撮影中は切り換えはできません。



## ■ プリセットMFにピント位置を設定する

- 1 AF方式で[プリセットMF]を選択する。
- 2 **INFO**ボタンを押します。
- 3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
  - フォーカスリングを回して、ピントを微調整できます。
- 4 **OK**ボタンを押す。
  - **[カメラボタン機能]**でプリセットMFボタンを割り当てたボタンを押すと、AF方式をプリセットMFに設定できます。もう一度押すと元のAF方式に戻ります。
  - カスタムメニューの**[プリセットMF距離]**で、ピント位置の距離を設定できます。

## プリセットMF距離

プリセットMFのフォーカス位置を設定する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → **\***タブ → **A3**タブ → **[プリセットMF距離]** → プリセットMFのフォーカス位置を設定

距離は正確なものではなく目安です。

## MFアシスト

マニュアルフォーカス時のアシスト機能です。

- **[On]**に設定すると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したとき、自動的に拡大表示したり、ピーキング表示することができます。
- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → **A3**タブ → **[MFアシスト]** → **[拡大]**または**[ピーキング]** → **[On]**または**[Off]**を選択

拡大	画面の一部を拡大して表示します。拡大する部分はあらかじめAFターゲットで決めることができます。ムービーを撮影中は拡大できません。
ピーキング	画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色や強度を選択することができます。

- **[ピーキング]**は、ボタン操作で表示することもできます。ボタンを押すたびに表示を切り換えることができます。ムービーモードの場合は動画メニューの**[設定ボタン機能]**（P.25）で、ムービーモード以外の場合はカスタムメニューの**[設定ボタン機能]**で、あらかじめいずれかのボタンにピーキング機能を割り当てておきます。
- ピーキング表示中は、**INFO**ボタンを押して、色や強度を変更することができます。
- ピーキング表示は、細かい被写体ほど強く表示される傾向にあります。正確なピント位置を保証するものではありません。

## ピーキング表示

ピーキングの表示色の設定です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → **D3**タブ → **[ピーキング表示]** → 各種設定

輪郭強調の色（赤・黄・白・黒）と強度（標準・弱・強）、**[ピーキング背景の輝度調整]**（On・Off）を変更できます。

## MFクラッチ

MFクラッチ搭載レンズのMFクラッチ機能の有効／無効を切り換える機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → **A3**タブ → **[MFクラッチ]** → **[有効]**または**[無効]**を選択



## AFターゲット選択

AFターゲットの選択方法やサイズを設定する機能です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

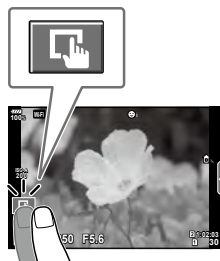
- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで**[AFターゲット選択]**を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 フロントダイヤルでオールターゲットまたはシングルターゲットを選ぶ。
  - シングルターゲットのときは、十字ボタンでAFターゲットの位置を変更できます。
- 4 **OK** ボタンを押す。



## タッチAF

タッチ操作でピント合わせを行う機能です。

- この機能は、タッチ操作で設定します。
- AF** ボタンにタッチして**AF** に切り換えてから画面にタッチすると、タッチした箇所にAFターゲットを表示してピントを合わせることができます。タッチによる操作はムービーを撮影中も可能です。



## 顔優先AF / 瞳優先AF

顔や瞳を検出して優先的にフォーカシングする機能です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで**[顔優先]**を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。
  - フロントダイヤルで操作することもできます。










**[AFターゲット選択]**の設定画面やライブコントロール(P.4)でも設定できます。**[AFターゲット選択]**の設定画面では、リアダイヤルで設定を変更します。

## ムービー録音

ムービーの録音に関する設定です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン →  タブ → **[ムービー録音]** → **[On]** → 詳細設定

機能	サブメニュー		説明
録音レベル調整	内蔵 	-10 ~ +10	内蔵マイクおよび外部マイクの感度の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>マイク端子に接続した外部マイクの録音レベルは<b>[MIC </b>]で調整します。</li> </ul>
	MIC 	-10 ~ +10	
 入力リミッター	Off		入力音量を制限する機能
	On		
風切り音低減	Off		風による雑音を低減する機能
	弱		
	標準		
	強		
 プラグインパワー	Off		外部接続するマイクの電源供給に関する設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>電源供給が不要なマイクを接続する場合は<b>[Off]</b>を選択します。</li> </ul>
	On		
PCMレコーダー  接続	カメラ側録音調整	有効	PCMレコーダーを、カメラに接続して外部マイクとして使う場合の設定
		無効	
	スレートトーン	Off	
		On	
	 REC同期	Off	
		On	
ヘッドホン音量	1 ~ 16		接続するヘッドホンの音量設定

## ■ オリンパス製ICレコーダー LS-100を使ってムービー音声を録音する

オリンパス製ICレコーダー LS-100を使ってムービー音声を録音するときは、カメラの操作でスレートトーン発音や録音開始・終了することができます。【ムービー録音】の【PCMレコーダー ②接続】で、【スレートトーン】と【◎REC同期】を【On】に設定してください。また、必ずLS-100のファームウェアを最新にしてお使いください。

### 1 LS-100をUSB端子とマイクに接続する。

- LS-100をUSB端子に接続すると、接続方法を選ぶ設定画面が表示されます。【PCMレコーダー】に設定してください。接続方法を選ぶ設定画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】を【オート】に設定してください。

### 2 ムービー撮影を開始する。

- 同時にLS-100が録音を開始します。
- ◎ボタンを長押しすると、スレートトーンを記録できます。

### 3 ムービー撮影を終了する。

- 同時にLS-100が録音を終了します。

LS-100の取扱説明書も合わせてご覧ください。

## カードスロット設定

カードをカードスロット1、2の両方に入れたときの記録や再生に関する設定です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → \*タブ → ④タブ → 【カードスロット設定】 → 設定

## 📷 記録設定

画像をカードに記録する方法を設定する機能です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

### ■ スロットを指定する

挿入されているカードが1枚のみの場合は設定できません。

- 1 OK ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[📷記録設定]を選び、OK ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの上下で[📷記録スロット]を選び、右を押す。
- 4 十字ボタンの上下でスロットを選び、OK ボタンを押します。



### ■ フォルダを指定する

- 1 OK ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[📷記録設定]を選び、OK ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの上下で[記録フォルダ指定]を選び、右を押す。
- 4 十字ボタンの上下で[指定する]を選び、右を押す。
  - [新規作成]を選択した場合は、3桁のフォルダ番号を指定して、OK ボタンを押します。
  - [既存フォルダ選択]を選択した場合は、十字ボタンの上下で既存フォルダを選択して、OK ボタンを押します。



カスタムメニュー **H1** の[カードスロット設定] (P.19)でも設定できます。

## 手ぶれ補正

ムービー撮影時の手ぶれ補正の設定です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[手ぶれ補正]を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。
  - フロントダイヤルで操作することもできます。



OFF	動画 手ぶれ補正 Off	手ぶれを補正しません。
M-IS <b>1</b>	全方向補正	センサーシフト式(VCM)と電子式の両方の補正を使用します。
M-IS <b>2</b>	全方向補正	センサーシフト式(VCM)補正のみ行います。 電子式の補正は行いません。

- M-IS **1** のときは画面の端が切り取られるため、撮影できる範囲が少し狭くなります。
- LVスーパーコンパネでは、[手ぶれ補正]の他に[手ぶれ補正]（静止画撮影用の手ぶれ補正機能）の設定をすることができますが、[手ぶれ補正]の補正効果はムービーには反映されません。
- メニュー（P.3）やライブコントロール(P.4)でも設定できます。

## 🔗HDMI出力

カメラと外部機器をHDMI接続してムービーを撮影するときの設定です。

- この機能は、メニュー (P.3) で設定します。

**MENU**ボタン → 🗄️タブ → [🔗HDMI出力] → 各種設定

サブメニュー 1	サブメニュー 2	説明
出力モード設定	モニターモード	HDMI機器を外部モニターとして使用するときを選択します。モニターモードの出力は、カスタムメニュー <b>D4</b> の [HDMI] の設定に従います。
	記録モード	HDMI機器を外部レコーダーとして使用するときを選択します。カメラの設定に従って映像や音声を出力します。
RECトリガー	Off On	カメラから、接続した外部レコーダーにRECトリガーを通知します。
タイムコード	Off On	カメラから、接続した外部レコーダーにタイムコードを通知します。

## ISO感度

露出モードが**M**モード時のISO感度設定です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 👉 ボタンを押す。
- 十字ボタンでISO感度を選び、👉 ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 十字ボタンの左右で設定値を選び、👉 ボタンを押す。
  - フロントダイヤルで操作することもできます。



- M**モード時は、ISO 200 ~ 6400の間で感度を設定できます。
- P/A/S**モード時はAUTOに固定され、カメラが自動的に感度を調節します(最高感度ISO 6400)。
- ライブコントロール(P.4)でも設定できます。

## シャープネス

鮮鋭度を調整する機能です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[シャープネス]を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。
  - フロントダイヤルで操作することもできます。



## コントラスト

明暗の差を調整する機能です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[コントラスト]を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。
  - フロントダイヤルで操作することもできます。



## 彩度

色の鮮やかさを調整する機能です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[彩度]を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。
  - フロントダイヤルで操作することもできます。

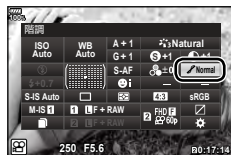


## 階調

階調を調整する機能です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[階調]を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンの左右で設定値を選び、**OK** ボタンを押す。
  - フロントダイヤルで操作することもできます。



## ハイライト&シャドウコントロール

ハイライト部とシャドウ部の明るさを調整する機能です。

- この機能は、LVスーパーコンパネ(P.3)で設定します。

- 1 **OK** ボタンを押す。
- 2 十字ボタンで[ハイライト&シャドウコントロール]を選び、**OK** ボタンを押す。
  - リアダイヤルで操作することもできます。
- 3 十字ボタンで設定を変更し、**OK** ボタンを押す。
  - **INFO** ボタンを押すと、中間部と明暗部の設定画面を切り換えることができます。
  - フロントダイヤルとリアダイヤルで操作することもできます。





## 高感度ノイズ低減

高感度でムービー撮影するときが発生するノイズを低減する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → タブ → [画質設定] → [高感度ノイズ低減] → 設定

## ボタン機能

ムービーモード時のボタン機能のカスタム設定です（ボタンに各種機能を割り当てられます）。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → タブ → [ボタン/ダイヤル/レバー] → [ボタン機能] → 各種設定

初期設定では、各ボタンにそれぞれ以下の機能が割り当てられています。

ボタン	初期設定	ボタン	初期設定
<b>Fn1</b> ボタン機能	[:]選択	<b>D</b> ボタン機能	電動ズーム <sup>*1</sup>
<b>Fn2</b> ボタン機能	マルチFn	<b>ISO/WB</b> ボタン機能	ISO/WB
<b>REC</b> ボタン機能	REC	<b>B-Fn1</b> ボタン機能 <sup>*2</sup>	[:]選択
<b>AEL/AFL</b> ボタン機能	AEL/AFL	<b>B-Fn2</b> ボタン機能 <sup>*2</sup>	AEL/AFL
<b>ピーキング</b> ボタン機能	ピーキング	<b>PBR1</b> ボタン機能 <sup>*2</sup>	ダイレクト機能
<b>Q</b> ボタン機能	Q	<b>PBR2</b> ボタン機能 <sup>*2</sup>	電動ズーム <sup>*1</sup>
<b>IOI</b> ボタン機能	IOI	<b>PBR3</b> ボタン機能 <sup>*2</sup>	ISO/WB
<b>ダイレクト機能</b> ボタン機能	ダイレクト機能	<b>L-Fn</b> ボタン機能 <sup>*3</sup>	AF停止

\*1 電動ズーム機能搭載レンズを装着したときに使用できます。

\*2 別売のパワーバッテリーホルダー（HLD-9）を装着したときに使用できます。

\*3 **L-Fn** ボタン搭載レンズを装着したときに使用できます。

## ■ ボタンに割り当てられる機能

ボタンに割り当てられる機能は以下の通りです。ボタンによって選択できる機能は異なります。

<b>AF停止</b>	AF動作を停止します。
<b>AEI (AEL/AFL)</b>	AEロックまたはAFロックを行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• AELのときは、一度ボタンを押すと露出が固定され画面に<b>AEI</b>が表示されます。再度押すと解除します。</li> </ul>
<b>REC</b>	ムービーを撮影できます。
<b>[::] ([::]選択)</b>	AFターゲットの設定をします(P.17)。
<b>MF切換</b>	マニュアルフォーカスに切り換えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボタンを押すと、<b>AF</b>方式が<b>[MF]</b>に切り換わります。再度押すと、元の<b>AF</b>方式に切り換わります。</li> <li>• ボタンを押しながらダイヤルを回すとフォーカスモードを切り換えることができます。</li> </ul>
<b>☒ (露出補正)</b>	露出補正をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>P/A/S</b>モードでボタンを押すと、ダイヤルや十字ボタンの左右で露出補正を変更できます。</li> <li>• <b>M</b>モードでボタンを押すと、ダイヤルや十字ボタンでシャッター速度や絞り値を変更できます。</li> </ul>
<b>ムービーテレコン</b>	レンズのズームを使わずに、画面の一部を拡大します。カメラを固定したままでも画面の選んだ位置の拡大をすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボタンを押すと拡大枠が表示され、もう一度ボタンを押すと、囲まれた部分がムービーテレコンで撮影する範囲に設定されます。拡大枠は十字ボタンで任意の位置に移動できます。</li> <li>• ムービーテレコンを中止するにはボタンをもう一度押しします。</li> </ul>
<b>Q (拡大)</b>	拡大枠の表示/非表示を切り換えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボタンを押すと拡大枠が表示され、もう一度押すと画像が拡大されます。</li> <li>• 中止するにはボタンを長押しします。</li> </ul>
<b>☼ ISO / ☼ WB</b>	フロントダイヤルでISO感度の設定、リアダイヤルでホワイトバランスの設定をします。
<b>☼ WB / ☼ ISO</b>	フロントダイヤルでホワイトバランス、リアダイヤルでISO感度の設定をします。
<b>マルチFn</b>	選択されているマルチファンクションを呼び出します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• マルチファンクションでは、以下の機能が使用できます。  <b>☒</b> (ハイライト&amp;シャドウコントロール)、  <b>☉</b> (カラークリエイター)、<b>ISO</b> (ISO感度/ホワイトバランス)、<b>WB</b> (ホワイトバランス/ISO感度)、<b>Q</b> (拡大)、<b>☒</b> (アスペクト比設定)、<b>SOFT</b> (OVFシミュレーション)、<b>PEAK</b> (ピーキング)</li> </ul>

ピーキング	<p>ピーキングの表示／非表示を切り換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ピーキング表示中は、ヒストグラムやハイライト／シャドウ表示はできません。</li> <li>ピーキング表示中に<b>INFO</b>ボタンを押して色や強度を変更できます。</li> </ul>
LOI (LOI切換)	<p>ライブビューの表示／非表示を切り換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイセンサーが無効な場合は、モニター表示とEVF表示を切り換えます。</li> </ul>
手ぶれ補正	<p>手ぶれ補正の有効／無効を切り換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押しながらダイヤルを回すと、手ぶれ補正モードを切り換えることができます。</li> </ul>
プリセットMF	<p>プリセットMFに切り換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押すとプリセットMFに切り換わり、もう一度押すと元のAF方式に切り換わります。</li> <li>ボタンを押しながらダイヤルを回すと、フォーカスモードを切り換えることができます。</li> </ul>
Exif Lens (レンズ情報登録)	<p>レンズ情報登録メニューを呼び出します。</p>
S-AF	<p>ピント合わせを行います。</p>
☑ (☑ロック)	<p>タッチパネルで操作するかどうかを切り換えられます。切り換えを行うにはボタンを長押しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ[☑ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。</li> </ul>
電動ズーム	<p>電動ズーム機能のあるレンズを装着時に、十字ボタンでズーム操作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ[☑ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。</li> </ul>

- [☑ボタン機能]および[☑ボタン機能]を使うには、[☑ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
- [☑ボタン機能]および[☑ボタン機能]を使うには、[☑ボタン機能]を[ダイレクト機能]に設定しておく必要があります。
- ☑ボタンが[ダイレクト機能]のときは、十字ボタンのそれぞれに機能を割り当てます。
- ☑ボタンが[:::]のときは、AFターゲットを選択します。
- **L-Fn**ボタンは、一部のレンズに搭載されているボタンの機能を設定します。

## ダイヤル機能

ムービーモード時のダイヤル機能のカスタム設定です(ダイヤルに割り当てられた機能を変更できます)。

- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン → タブ → [ボタン/ダイヤル/レバー] → [ダイヤル機能] → ムービーモード時のダイヤル機能を設定

露出モードによって、フロントダイヤルとリアダイヤルに割り当てられる機能が異なります。割り当てが可能な機能は以下の通りです。

割り当てられる機能	露出モード			
	P	A	S	M
シャッター速度	—	—	○	○
絞り	—	○	—	○
露出補正	○	○	○	—
ISO感度	—	—	—	○
WBモード	○	○	○	○
CWB色温度	○	○	○	○
VOL	○	○	○	○
VOL	○	○	○	○

## Fnレバー機能

ムービーモード時のレバー機能のカスタム設定(レバーの機能を変更できます)

- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン → タブ → [ボタン/ダイヤル/レバー] → [Fnレバー機能] → 設定

mode1	Fnレバーで、[ダイヤル機能]で設定されている機能に切り換えます。
mode2	AF方式、AFターゲット設定([AFモード]), AFターゲット選択(+)の設定を、Fnレバーの位置によって切り換えることができます。十字ボタンの右を押して設定する項目を選びます。

[Fnレバー機能]は、[Fnレバー機能]が[mode3]のときや、[Fnレバー/電源レバー]が[PW1]または[PW2]のときは設定できません。その場合、Fnレバーの機能は[Fnレバー機能]または[Fnレバー/電源レバー]の設定に従います。

## ☞シャッターボタン機能

ムービーモード時のシャッターボタン機能のカスタム設定です(シャッターボタンに他の機能を割り当てられます)。

- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン → ☞タブ → [☞ボタン/ダイヤル/レバー] → [☞シャッターボタン機能] → ムービーモード時のシャッターボタンの機能を選択

	シャッターボタンを押したときにAF操作を行います。静止画撮影はできません。
	シャッターボタン全押しで、ムービー撮影の開始と停止を行います

## ☞電動ズーム速度

ムービーモード時の電動ズーム速度の設定です。

- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン → ☞タブ → [☞ボタン/ダイヤル/レバー] → [☞電動ズーム速度] → 設定

## ☞Control表示

ムービーモード専用のコントロールパネル表示の設定です。

- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン → ☞タブ → [☞表示設定] → [☞Control表示] → 設定

## ☞Info表示

ムービーモード専用の情報表示の設定です。

- この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン → ☞タブ → [☞表示設定] → [☞Info表示] → 設定

## タイムコード設定

タイムコードに関する設定です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン →  タブ → [ 表示設定] → [タイムコード設定] → 各種設定




サブメニュー		説明
タイムコードモード	DF	実際の記録時間とのずれを補正します。時間を厳密に記録できます。
	NDF	実際の記録時間とのずれを補正しません。
カウントアップ方式	レックラン	ムービー記録中のみタイムコードをカウントします。
	フリーラン	常にタイムコードをカウントします（電源オフ中もカウントします）。
タイムコード値設定	リセット	タイムコードの開始時間を設定します。
	手動入力	
	現在時刻	

タイムコードはMotionJPEG（）では記録されません。

## 残量表示

電池残量表示を、ムービー記録可能時間とパーセンテージのどちらで行うか切り換える機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン →  タブ → [ 表示設定] → [ 残量表示] → 表示形式を選択

%	電池残量を%で表示する。
min	電池残量を撮影可能時間で表示する。

表示される記録可能時間は目安としてお使いください。

## マイクリップス

専用の画質モードで撮影した短いムービー「クリップ」を、1つのムービーとしてまとめることができる機能です。

### ■ クリップを撮る

- 1 モードダイヤルを $\square$ に設定する。
- 2  $\odot$ ボタンを押してLVスーパーコンパネを表示する。

- 3 十字ボタンで[画質モード]を選択する。

- ・ リアダイヤルで操作することもできます。
- ・ [画質モード]は、動画メニューの[画質設定]やライブコントロール(P.4)でも設定できます。



- 4 フロントダイヤルで $\square$ を選択し、 $\odot$ ボタンを押す。

- ・ **INFO**ボタンを押すと[ムービーサイズ]、[圧縮方式/ビットレート]、[フレームレート]、[時間リミッター (クリップス)]を変更できます。十字ボタンの左右で[ムービーサイズ]、[圧縮方式/ビットレート]、[フレームレート]または[時間リミッター (クリップス)]を選んでから上下で変更します。

- 5  $\odot$ ボタンを押して撮影を開始する。

- ・ 撮影中に $\odot$ ボタンを押すと、撮影終了までの時間が延長されます。この操作を繰り返し行うことによって、最大16秒まで記録できます。



- ・ 記録時間が[時間リミッター (クリップス)]で設定した時間に達すると自動的に撮影が終了します。撮影が終了すると、撮影したクリップは自動的にマイクリップスに登録され、確認画面が表示されます。



- 6 撮影確認画面で撮影したクリップを確認する。

- ・ 十字ボタンの上を押すと、同じマイクリップスに登録された複数のクリップを続けて順番に再生します。再生を終了するには $\odot$ ボタンを押します。

- 7  $\odot$ ボタンを押して撮影確認画面を終了する。

- ・ 新しいクリップを撮影する場合は手順5～7を繰り返します。撮影したクリップは、前回のクリップと同じマイクリップスに保存されます。ただし、追加するクリップのムービーサイズやフレームレートが前回のクリップと異なる場合は、別のマイクリップスに保存されます。

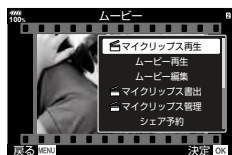
撮影確認画面で十字ボタンの下を押すと、マイクリップスの順番変更画面(P.34)に切り換わります。また、 $\square$ を押して[実行]を選択するとクリップを削除します。

## ■ マイクリップスを再生する

- 1 ▶ボタンを押して1コマ再生画面を表示する。
- 2 クリップ(罫が表示されているムービー)を選択し、Ⓞボタンを押す。
  - メニューが表示されます。



- 3 十字ボタンの上下で[罫マイクリップス再生]を選択し、Ⓞボタンを押す。
  - マイクリップスにあるクリップが続けて順番に再生されます。
  - 再生を終了するには、もう一度Ⓞボタンを押します。
  - 1コマ再生画面でⓄボタンを押したときに表示されるメニューでは、クリップの再生([ムービー再生])やトリミング([ムービー編集] > [トリミング])などもできます。





## ■ マイクリップスを管理・編集する

マイクリップス再生画面を使うと、マイクリップスの再生や書き出し、クリップの順番変更などができます。



- 1 再生ボタンを押して1コマ再生画面を表示する。
- 2 クリップ(📺が表示されているムービー)を選択し、OKボタンを押す。
  - メニューが表示されます。
- 3 十字ボタンの上下で[📺マイクリップス管理]を選択し、OKボタンを押す。
  - マイクリップス再生画面が表示されます。



### マイクリップス再生画面でできること

マイクリップス再生画面では、以下のことができます。

機能	説明
📺マイクリップス再生	[📺マイクリップス再生]を選択してOKボタンを押すと、選択中のクリップが登録されたマイクリップス内のファイルを順番に再生します。再生を終了するには、もう一度OKボタンを押します。
ムービー再生	[ムービー再生]を選択してOKボタンを押すと、選択したクリップだけをムービー再生します。再生を終了するには、 <b>MENU</b> ボタンを押します。
📺マイクリップス書出	マイクリップスにある複数のクリップを、1つのムービーファイルとして書き出します(P.37)。
順番変更	クリップの順序を変更したり、新しいマイクリップスをつくることができます(P.34)。
次の追加先に設定	次回以降の撮影でクリップを登録するマイクリップスを変更できます(P.35)。
📺マイクリップス消去	[📺マイクリップス消去]を選択してOKボタンを押すと、マイクリップス内でプロテクトされていないすべてのクリップを消去します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• クリップはカードからも消去されます。</li></ul>
1コマ消去	[実行]を選択しOKボタンを押すと消去されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• クリップはカードからも消去されます。</li></ul>

## 順番変更

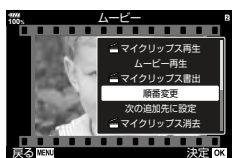
クリップの順序を変更したり、別のマイクリップスにクリップを移動する

- 1 十字ボタンでクリップを選んで、**OK** ボタンを押す。



- 2 十字ボタンの上下で**順番変更**を選択して**OK** ボタンを押す。

- マイクリップスの順番変更画面に切り換わります。



- 3 十字ボタンでクリップを移動して**OK** ボタンを押す。

- 変更内容が確定されます。



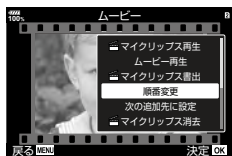
## 新しいマイクリップスをつくる

- 1 十字ボタンでクリップを選んで**OK** ボタンを押す。



- 2 十字ボタンの上下で**順番変更**を選択して**OK** ボタンを押す。

- マイクリップスの順番変更画面に切り換わります。



- 3 十字ボタンでクリップを画面上部にある**追加**の枠に移動し、**OK** ボタンを押す。

- 選んだクリップが新しいマイクリップスに登録されます。以前のマイクリップスの登録は解除されます。



## マイクリップスの登録から解除する

- 1 十字ボタンでクリップを選んで $\odot$ ボタンを押す。



- 2 十字ボタンの上下で【順番変更】を選択して $\odot$ ボタンを押す。

- マイクリップスの順番変更画面に切り換わります。



- 3 十字ボタンでクリップを画面上部にある $\square$ の枠に移動し、 $\odot$ ボタンを押す。

- マイクリップスの登録が解除されます。



## 次の追加先に設定

登録するマイクリップスを指定できます。

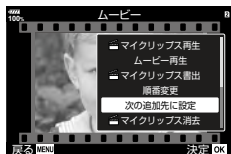
- 1 次回以降の撮影でクリップを登録するマイクリップスを十字ボタンで選んで、 $\odot$ ボタンを押す。

- 2 十字ボタンの上下で【次の追加先に設定】を選択して $\odot$ ボタンを押す。

- 確認画面が表示されます。

- 3  $\odot$ ボタンを押す。

- 指定したマイクリップスが、次回以降撮影するクリップの登録先に設定されます。
- 【ムービーサイズ】、【圧縮方式/ビットレート】、および【フレームレート】の設定が異なるクリップを撮影した場合は、新しいマイクリップスまたは同じ画質設定のクリップのあるマイクリップスに登録されます。

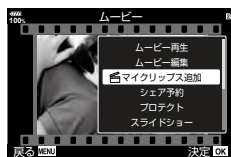


## 静止画やクリップをマイクリップスに追加する(🎞️マイクリップス追加)

静止画やマイクリップスに登録されていないクリップを、マイクリップスに追加することができます。

- RAW画像や、ハイレゾショットで撮影した画像を追加する場合、画質の粗い表示用の画像が追加されます。

- 1 ▶️ボタンを押して1コマ再生画面を表示する。
- 2 十字ボタンの左右でマイクリップスに追加したい静止画またはクリップを選択し、Ⓜ️ボタンを押す。
  - メニューが表示されます。
- 3 十字ボタンの上下で[🎞️マイクリップス追加]を選択し、Ⓜ️ボタンを押す。
- 4 十字ボタンで、登録先のマイクリップスと追加する位置を選び、Ⓜ️ボタンを押します。
  - 指定した静止画またはクリップがマイクリップスに追加され、1コマ再生画面に戻ります。

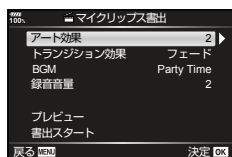


## ■ マイクリップスからムービーファイルを書き出す

- 1 ▶ボタンを押して1コマ再生画面を表示する。
- 2 クリップ(鬚が表示されているムービー)を選択し、Ⓚボタンを押す。
  - メニューが表示されます。
- 3 十字ボタンの上下で[鬚マイクリップス書出]を選択し、Ⓚボタンを押す。
  - [鬚マイクリップス書出]の設定画面が表示されます。

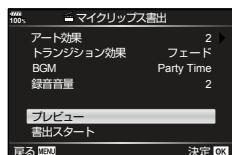


- 4 ムービーファイルに追加する効果などを設定する。
  - マイクリップスから書き出すムービーファイルに効果やBGMなどを設定できます。十字ボタンの上下で項目を選んでⓀボタンを押すと、それぞれの設定画面に切り替わります。十字ボタンの上下で項目または設定値を選んでⓀボタンを押すと、設定が変更されます。



アート効果	6種類のアート効果を適用できます。
トランジション効果	フェード効果を適用できます。
BGM	マイクリップスから書き出すムービーにBGMを追加するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 当社ホームページからBGMデータをダウンロードしてインポートすると、BGMを変更することができます(P.38)。</li></ul>
録音音量	BGMを[Party Time]に設定したとき、ムービーに記録されている音声の音量を設定します。
録音音声	[On]にすると、録音音声を画像とともにムービーに書き出します。BGMが[Off]のときだけ設定できます。

- 5 [プレビュー]を選んでⓀボタンを押す。
  - マイクリップス書き出しするムービーがプレビュー表示されます。



## 6 【書出スタート】を選んで $\odot$ ボタンを押す。

- 1つのムービーとして新規に保存されます。
- ムービーの書き出しには時間がかかる場合があります。
- マイクリップスは最長15分、最大ファイルサイズ4GBに制限されます。

- カードの抜き差し、画像の消去やプロテクトなどを行ったあとは、マイクリップス表示まで時間がかかることがあります。
- マイクリップスは最大99個、マイクリップス1つあたりのクリップ数は最大99カットです。上限値はマイクリップスのファイルサイズや時間の制限によって変わります。
- クリップ以外のムービーはマイクリップスに追加できません。

## BGMを変更する

当社ホームページからBGMデータをダウンロードしてインポートすると、BGMを変更することができます。

### 1 お使いのパソコンにBGMデータをダウンロードする。

- ダウンロードについては下記のホームページをご覧ください。  
<http://support.olympus-imaging.com/bgmdownload/>

### 2 ダウンロードしたBGMデータを、カメラで使用しているカードに保存する。

### 3 カードをカメラに入れて電源をONにする。

### 4 $\blacktriangleright$ ボタンを押して1コマ再生画面を表示する。

### 5 クリップ( $\text{⌂}$ が表示されているムービー)を選択し、 $\odot$ ボタンを押す。

- メニューが表示されます。

### 6 【 $\text{⌂}$ マイクリップス書出】を選んで $\odot$ ボタンを押す。

- 【 $\text{⌂}$ マイクリップス書出】の設定画面が表示されます。

### 7 【BGM】を選んで十字ボタンの右を押す。

- カードに保存されているBGMがカメラにインポートされます。新しいBGMをインポートすると現在のBGMは削除されます。

## 動画エフェクト

ムービーに残像やオールドフィルムなどの効果を付加する機能です。

- この機能は、タッチ操作で設定します。

### ■ 動画エフェクトのアイコンを表示させる

動画エフェクトのアイコンを表示させるには、あらかじめメニューで設定しておく必要があります。



**MENU**ボタン → **設定**タブ → **[設定表示]** → **[Info表示]** → **[カスタム表示1]** → **[動画エフェクト]**にチェックを入れる

### ■ ムービーに効果をつけて撮影する






#### 1 ●ボタンを押して撮影を開始する。

- 撮影を終了するときにはもう一度●ボタンを押します。

#### 2 効果をつけたいシーンでアイコンにタッチする。

- 動画エフェクトで使える効果は以下の通りです。効果は撮影中に切り換えられます。

	アートフェード	選択したピクチャーモードの効果で撮影できます。切り換わり時は、フェード効果がつきます。 <ul style="list-style-type: none"><li>•  をタッチします。使用するピクチャーモードにタッチして指を放したときに、徐々に効果が反映されます。</li></ul>
	オールドフィルム	古い映画のような、傷やほこり状のノイズを無作為につけます。 <ul style="list-style-type: none"><li>•  をタッチすると効果が反映されます。もう一度タッチすると解除されます。</li></ul>
	マルチエコー	残像効果をつけます。動きのある被写体の残像を残したムービーが撮影できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>•  をタッチすると効果が反映されます。もう一度タッチすると解除されます。</li></ul>
	ワンショットエコー	ボタンを押したときの画像をしばらく残像として残します。残像は時間が経つと自動的に消えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>•  をタッチするたびに効果が加えられます。</li></ul>

	<p>ムービーテレコン</p>	<p>レンズのズームを使わずに、画面の一部を拡大します。カメラを固定したままでも画面の選んだ位置の拡大をすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•  をタッチすると拡大枠が表示されます。拡大したい位置をタッチすると拡大枠が移動します。</li> <li>• 拡大枠が表示されているときに  をタッチすると、拡大表示します。</li> <li>• 拡大表示時に  をタッチすると拡大が解除されます。</li> <li>•  をタッチするか◎ボタンを押すと、拡大枠が消えてムービーテレコンが終了します。</li> <li>• ムービーサイズで<b>[4K]</b>または<b>[C4K]</b>を設定しているときは、ムービーテレコンは使用できません。</li> </ul>
---	-----------------	--

### 3 ◎ボタンを押して撮影を終了する。

- 同時に2つの効果を使うことはできません。
- ピクチャーモードによっては、設定できない効果があります。
- タッチ操作やボタンの操作音が録音されることがあります。
- クリップスの撮影ではアートフェードは使えません。
- スロー／クイック撮影では、ムービーテレコン以外の動画エフェクトは使用できません。
- ムービーサイズで**[4K]**や**[C4K]**などサイズの大きなムービー画質モードを設定しているときにアートフィルターや動画エフェクトを使用した場合、フレームレートが低下することがあります。
- スロー／クイック撮影では、アートフィルターは使用できません。
- ムービー専用のピクチャーモードやスロー／クイック撮影では、動画エフェクトは使用できません。



## 静音機能

ムービー撮影中の操作音を抑えるために、撮影に関する設定をタッチ操作で行える機能です(電動ズーム、録音レベル、絞り値、シャッター速度、露出補正、ISO感度、ヘッドホン音量をタッチ操作で設定可能)。

- この機能はメニューで設定し、タッチパネルで操作します。

### ■ 静音操作タブを表示させる

静音操作タブを表示させるには、あらかじめメニューで設定しておく必要があります。

静音操作タブ



**MENU**ボタン → **設定**タブ → **[設定表示]** → **[Info表示]** → **[カスタム表示1]** → **[タッチ静音操作]**にチェックを入れる

### ■ 静音機能を設定する

#### 1 静音操作タブをタッチする。

- 静音操作タブが開き、以下の静音機能が表示されます。設定できる項目は露出モードによって異なります。

アイコン	機能
	電動ズーム <sup>*1</sup>
	録音レベル
<b>FNo</b>	絞り
<b>SS</b>	シャッター速度
	露出補正
<b>ISO</b>	ISO感度
	ヘッドホン音量 <sup>*2</sup>

\*1 電動ズーム機能つきレンズを使用時のみ

\*2 ヘッドホン使用時のみ

#### 2 をタッチして設定を変更する。

#### 3 をタッチして、設定を完了する。

## ムービー再生

- 1 再生ボタンを押して、再生画面を表示する。
- 2 再生したいムービーを表示してⓂボタンを押す。



- 3 【ムービー再生】を選択してⓂボタンを押す。
  - ムービー再生が始まります。
  - 十字ボタンの左右で早送り、巻き戻しします。Ⓜボタンを再度押すと一時停止します。一時停止中は、十字ボタンの上で先頭のフレーム、下で最後のフレームを表示します。十字ボタンの左右またはフロントダイヤル(Ⓜ)でコマ戻し/コマ送りします。**MENU**ボタンを押すと再生を終了します。

### 4GB以上のムービーの場合

自動的に分割されたムービーでは、Ⓜボタンを押すと以下のメニューが表示されます。

先頭から連続で再生	分割されたムービーを通して再生
ムービー再生	ファイル別に再生
同一ムービー消去	分割されたムービーをすべて消去
1コマ消去	ファイル別に消去

## トリミング

---

- 1 **▶**ボタンを押して、再生画面を表示する。
- 2 トリミングしたいムービーを表示して**OK**ボタンを押す。
  - メニューが表示されます。
- 3 **[ムービー編集]**を選び**OK**ボタンを押す。
- 4 十字ボタンの上下で**[トリミング]**を選び**OK**ボタンを押す。
- 5 **[上書き保存]**または**[新規作成]**を選択して、**OK**ボタンを押す。
  - ムービーがプロテクトされている場合は、**[上書き保存]**は選択できません。
- 6 十字ボタンの左右でトリミングする範囲を指定する。
  - 先頭または後尾から選択されたフレームまでの範囲を削除します。
- 7 **[実行]**を選択して**OK**ボタンを押す。

## 静止画切り出し

---

ムービーからコマを選択して、静止画として保存する機能です。

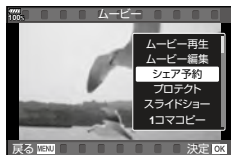
- 1 **▶**再生メニューで**[編集]**を選択して、**OK**ボタンを押す。
- 2 十字ボタンの上下で**[画像選択]**を選び**OK**ボタンを押す。
- 3 十字ボタンの左右でムービーを選択して**OK**ボタンを押す。
- 4 **[ムービー編集]**を選び**OK**ボタンを押す。
- 5 十字ボタンの上下で**[静止画切り出し]**を選び**OK**ボタンを押す。
- 6 十字ボタンの左右で静止画として保存するコマを表示して**OK**ボタンを押す。
  - 撮影時のアスペクト比が**[16:9]**、画質モードがMOVで4Kサイズ、このカメラで撮影したムービーを編集できます。

## シェア予約

OL.Shareでスマートフォンに転送するムービーや静止画の予約を行う機能です。

- Motion JPEG (解明)のムービーはシェア予約できません。

- 1 再生ボタンを押して、再生画面を表示する。
- 2 転送したい画像を表示してOKボタンを押す。
  - メニューが表示されます。
- 3 [シェア予約]を選択してOKボタンを押す。
- 4 十字ボタンの上または下を押す。
  - 選択した画像がシェア予約されると、画像に☞が表示されます。
  - シェア予約を解除するには、十字ボタンの上または下を押します。



## プロテクト

ムービーや静止画をプロテクト(保護)する機能です。

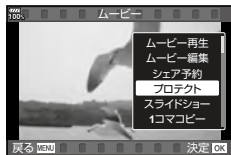
- 1 再生ボタンを押して、再生画面を表示する。
- 2 保護したい画像を表示してAEL/AFLボタンを押す。
  - 画像にOn (プロテクトマーク)が表示されます。
  - プロテクトを解除するには、もう一度AEL/AFLボタンを押します。

プロテクトマーク






AEL/AFLボタンに他の機能が割り当てられているときなど、AEL/AFLボタンをせずにプロテクトを行いたい場合は、次の方法で設定することができます。

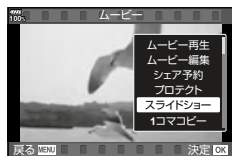
- 1 再生ボタンを押して、再生画面を表示する。
- 2 保護したい画像を表示してOKボタンを押す。
- 3 [プロテクト]を選択してOKボタンを押す。
- 4 十字ボタンの上または下を押す。
  - 画像にOn (プロテクトマーク)が表示されます。



## スライドショー


カードに記録したムービーや静止画を自動再生する機能です。

- 1  ボタンを押して、再生画面を表示する。
- 2  ボタンを押す。
- 3 [スライドショー]を選択して ボタンを押す。






- 4 スライドショーの設定をする。

スタート	スライドショーを開始します。表示している画像から、順に再生されます。
BGM	[Party Time]、または[Off]を設定します。
スライド	再生する画像の種類を設定します。
1コマ再生時間	次の画像に切り換わる間隔を2～10秒の間で設定します。
ムービー再生	ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する[フル]か、途中までの部分を再生する[ショート]を設定します。

- 5 [スタート]を選択して ボタンを押す。
  - スライドショーの再生中に十字ボタンの上下で全体の音量が調節できます(カメラのスピーカーでの再生時のみ)。音量調節表示中に十字ボタンの左右で画像やムービーに録音した音量とBGMのバランスを調節できます。

## 1コマ消去

1コマ再生画面で表示しているムービーや静止画を消去する機能です。

- 1  ボタンを押して、再生画面を表示する。
- 2 消去したい画像を再生し、 ボタンを押す。
- 3 [実行]を選択し、 ボタンを押す。



## フォーカスリング

フォーカシング時のフォーカスリングの回転方向を設定する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → **A3**タブ → [フォーカスリング] → フォーカスリングの回転方向を選択

## レンズリセット

電源をオフにしたときに、レンズのフォーカス位置をリセットするかどうか設定する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → **A3**タブ → [レンズリセット] → [On]または[Off]を選択

## フリッカー低減

フリッカーの影響を低減する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → **Q2**タブ → [フリッカー低減] → [オート]、[50Hz]、[60Hz]から選択

露出モードが**P**または**A**のときに有効です。

## ガイド線表示設定

撮影を補助する罫線表示の設定です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → **Q3**タブ → [ガイド線表示設定] → 各種設定

表示色	ガイド線の色と不透明度を設定します。[プリセット1]、[プリセット2]に登録できます。
表示罫線選択	[方眼]、[黄金分割]、[目盛]、[対角線]、[動画罫線]、[三分割]から選択し、撮影画面に罫線を表示できます。
EVF反映	[On]にすると、[EVF表示スタイル]の[スタイル1]および[スタイル2]のガイド線をモニターと同じにします。[EVFガイド線表示設定]は無効になります。

## ファイルネーム

画像をカードに記録するときのフォルダ番号やファイル番号の設定です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → 設定タブ → [ファイルネーム] → [オート]または [リセット]を選択

オート	カードを入れ替えても、ファイル番号は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイル番号がある場合は、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。
リセット	新しいカードを入れると、フォルダ番号は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイル番号に続いた番号が付けられます。

2枚のカードに同時記録する場合は、両方のカードのファイル番号とフォルダ番号により、1枚の場合と同じ規則で番号が付けられます。

## ファイルネーム編集

撮影した画像に付与するファイル名の設定を変更する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → 設定タブ → [ファイルネーム編集] → [sRGB]または[AdobeRGB]を選択 → ファイル名の設定を変更

## ワンプッシュ消去

再生画面で 消去ボタン 押したときに、消去確認画面を表示せずに画像を消去できる機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → 設定タブ → [ワンプッシュ消去] → [On]または [Off]を選択

## 実行優先設定

実行確認画面が表示されたときのカーソルの位置を、**[実行]**と**[中止]**のどちらにするか選択できる機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → \*タブ → **☐**タブ → **[実行優先設定]** → **[中止優先]**または**[実行優先]**を選択

## EVF自動切換設定

ファインダーに目を近づけたときに、自動的にファインダーを点灯させ、モニターを消灯させる機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → \*タブ → **☐**タブ → **[EVF自動切換設定]** → **[On]**または**[Off]**を選択

## EVF調整

ファインダー表示の明るさや色合いを調整する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → \*タブ → **☐**タブ → **[EVF調整]** → 各種調整

- ファインダーをのぞきながら、十字ボタンで明るさや色合いを調整します。
- **[EVF自動調光]**が**[On]**のときは自動で明るさを調整します。また、情報表示の濃さも自動的に調整されます。

## EVF表示スタイル

ファインダー表示の情報表示スタイルを設定する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → \*タブ → **☐**タブ → **[EVF表示スタイル]** → 表示スタイルを変更



## ボタン長押し時間調整

ボタンを長押しし始めてから、ボタンに割り当てられた長押し時の機能が動作するまでの時間を設定する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → ①タブ → [ボタン長押し時間調整] → 設定

## 水準器調整

水準器の水平を微調整する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → ①タブ → [水準器調整] → 水準器の調整方法を選択

リセット	出荷時の調整値に戻ります。
キャリブレーション	現在のカメラの状態位置を0点とします。

## タッチパネル設定

タッチパネルの有効／無効を設定する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → ①タブ → [タッチパネル設定] → [On]または[Off]を選択

## メニューカーソル保持

メニュー画面で前回操作したときのカーソル位置を保持する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → ①タブ → [メニューカーソル保持] → [記憶する]または[記憶しない]を選択

## 電池設定

別売のパワーバッテリーホルダー（HLD-9）使用時に優先的に使用する電池の設定、および装着されている電池の状態を表示する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → ②タブ → **[電池設定]** → 各種調整

使用順序設定	優先的に使用する電池を設定します。 <b>[本体側優先]</b> に設定すると、本体の電池を優先して使用します。 <b>[PBH側優先]</b> に設定すると、PBH（パワーバッテリーホルダー）の電池を優先して使用します。
ステータス表示	装着されている電池の状態を表示します。

## バックライト時間

電力消費を抑えるために画面を暗くするまでの時間を設定する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → ②タブ → **[バックライト時間]** → 減光するまでの時間を設定

## スリープ時間

省電力モード（スリープモード）に切り換わるまでの時間を設定する機能です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → ②タブ → **[スリープ時間]** → 省電力モードになるまでの時間を設定

## 自動電源Off

自動的に電源をオフにする機能です。




- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → ※タブ → ②タブ → **[自動電源Off]** → 自動的に電源をOffするまでの時間を設定



## リセット

設定値を初期化します。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

- 1 **MENU** ボタンを押す。
- 2  撮影メニュー 1で、[リセット/カスタム設定]を選択して、 ボタンを押す。
- 3 十字ボタンの上下で[リセット]を選択して、十字ボタンの右を押す。
- 4 十字ボタンの上下でリセットの種類を選択して、 ボタンを押す。

フル	日付や言語など一部の設定を除き、すべての機能を初期設定に戻します。
標準	撮影に関する基本機能を、初期設定に戻します。

- 5  ボタンを押す。
- 6 [実行]を選択して ボタンを押す。
  - 設定がリセットされます。

## カードセットアップ


カードの初期化(フォーマット)および全コマ消去を行います。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

### ■ カード初期化

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードを初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。

**MENU**ボタン →  タブ → [カードセットアップ] → カードを選択<sup>\*1</sup> → [カード初期化]<sup>\*2</sup> → [実行]

\*1 カードが2枚挿入されている場合に表示されます。

\*2 カードにデータが記録されている場合に表示されます。

## ■ 全コマ消去

撮影した画像をすべて消去します。プロテクトした画像は消去されません。

全コマ消去をするときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。

**MENU**ボタン →  $\uparrow$ タブ → [カードセットアップ] → カードを選択\* → [全コマ消去] → [実行]

\* カードが2枚挿入されている場合に表示されます。

## 日時設定

日付(年月日)と時刻を設定する機能です。

• この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン →  $\uparrow$ タブ → [日時設定] → 日付/時刻/日付表示順序を設定

## (言語切り換え)

メニューなどの表示言語を設定する機能です。

• この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン →  $\uparrow$ タブ → [] → 言語を選択

## モニター調整

モニターの色温度と明るさを調整する機能です。

• この機能は、メニュー (P.3)で設定します。

**MENU**ボタン →  $\uparrow$ タブ → [モニター調整] → 色温度と明るさを調整

## Wi-Fi設定

OI.Shareを使ってカメラとスマートフォンを無線接続するための設定です。

- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

**MENU**ボタン → タブ → **[Wi-Fi設定]** → 各種設定

## スマートフォン接続

OI.Shareを使ってカメラとスマートフォンを無線接続する機能です。

- スマートフォンにインストールした専用アプリOI.Share（OLYMPUS Image Share）を起動しておきます。OI.Shareの詳細については下記アドレスをご参照ください。  
<http://app.olympus-imaging.com/oishare/>
- この機能は、メニュー（P.3）で設定します。

### 1 再生メニューで**[スマートフォン接続]**を選択して**OK**ボタンを押す。

- モニター画面の**WiFi**にタッチしても接続できます。

### 2 モニターに表示される操作ガイドに従って、Wi-Fi接続準備を進める。

- モニターにSSIDとパスワードとQRコードが表示されます。







### 3 モニターに表示されたQRコードをOI.Shareを起動したスマートフォンで読み取る。

- 自動的に接続されます。
- 一部のスマートフォンではQRコード読み取り後に手動で設定する必要があります。
- QRコードを読み取れない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定で、SSIDとパスワードを設定して接続します。スマートフォンのWi-Fi設定については、スマートフォンの取扱説明書をお読みください。

### 4 接続を終了するには、カメラの**MENU**ボタンを押すか、モニター画面の**[Wi-Fi切断]**にタッチする。

- OI.Shareで接続を終了、カメラの電源オフをすることもできます。
- 接続を終了します。

- Ol.Shareと接続時は、カスタムメニュー  **[カードスロット設定]**の**[記録スロット]**が**[標準]**の動作となり、**[記録スロット]**で指定されたカードにアクセスします。Ol.Shareでアクセスするカードを変更することはできません。
- カードがどちらか一方のスロットにのみ装着されているときは、そのカードにアクセスします。
- ムービーは、**[記録スロット]**の設定に関わらず静止画と同じカードに記録されます。

- 無線LAN機能を使用する前に、取扱説明書に記載の「無線LAN機能について」をよくお読みください。
- このカメラを購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。
- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- このカメラの無線LAN機能を使って、自宅や公衆のアクセスポイントに接続することはできません。
- 送信用アンテナは、グリップ内にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。

発行日 2017.09.

**OLYMPUS**

---